

(訂正後)



2020年4月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2019年9月13日

上場会社名 ハイアス・アンド・カンパニー株式会社 上場取引所 東
 コード番号 6192 URL http://www.hyas.co.jp
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 濱村 聖一
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役執行役員経営管理本部長 (氏名) 西野 敦雄 TEL 03-5747-9800
 四半期報告書提出予定日 2019年9月13日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2020年4月期第1四半期の連結業績（2019年5月1日～2019年7月31日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年4月期第1四半期	1,843	46.1	<u>△17</u>	—	△19	—	△31	—
2019年4月期第1四半期	<u>1,262</u>	<u>13.5</u>	<u>14</u>	<u>△85.9</u>	<u>15</u>	<u>△84.7</u>	<u>△3</u>	—

(注) 包括利益 2020年4月期第1四半期 △31百万円 (—%) 2019年4月期第1四半期 △1百万円 (—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年4月期第1四半期	<u>△1.36</u>	—
2019年4月期第1四半期	<u>△0.17</u>	—

(注) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式は存在するものの1株当たり四半期純損失であるため記載していません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2020年4月期第1四半期	<u>3,777</u>	<u>1,282</u>	<u>32.8</u>	<u>54.15</u>
2019年4月期	<u>3,864</u>	<u>1,347</u>	<u>34.1</u>	<u>57.68</u>

(参考) 自己資本 2020年4月期第1四半期 1,238百万円 2019年4月期 1,319百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年4月期	—	1.70	—	1.70	3.40
2020年4月期	—	—	—	—	—
2020年4月期（予想）	—	1.90	—	1.90	3.80

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2020年4月期の連結業績予想（2019年5月1日～2020年4月30日）

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期（累計）	3,748	<u>36.2</u>	198	<u>47.7</u>	195	<u>45.5</u>	95	<u>45.8</u>	4.40
通期	8,400	37.7	560	34.4	530	28.0	290	20.6	12.68

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2020年4月期1Q	23,325,000株	2019年4月期	23,318,700株
② 期末自己株式数	2020年4月期1Q	446,172株	2019年4月期	446,172株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2020年4月期1Q	22,875,394株	2019年4月期1Q	22,188,343株

(注) 役員向け株式交付信託及び従業員向け株式交付信託の信託財産として、資産管理サービス信託銀行株式会社（信託口）の所有している当社株式が、期末自己株式数及び期中平均株式数の計算において控除する自己株式に含まれております。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P.3「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(重要な後発事象)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間の日本経済は、個人消費の持ち直し、企業収益や雇用情勢の改善等が進み、全体として引き続き緩やかな回復基調で推移しました。当社グループの事業領域にかかわる住宅不動産業界におきましては、貸家・マンションの新設住宅着工戸数が前年より大きく減少したものの、持家・分譲住宅が前年の水準を上回りました。

当社グループにおける当第1四半期連結累計期間は、主力の高性能デザイナーズ住宅「R+house」事業を中心に、会員企業の成果に連動する「ロイヤルティ等」が伸長する一方、今後の成長のために販売費及び一般管理費が増加しました。当第1四半期連結累計期間における「ロイヤルティ等」の売上高は1,171百万円（前期比59.9%増）、売上総利益は546百万円（前期比45.9%増）となりました（当社グループにおける収益項目は、サービス導入時に発生する「初期導入フィー」、毎月発生する「会費」及び導入サービスの成果報酬たる「ロイヤルティ」並びに「設計料・保証料等」（以下「ロイヤルティ」と「設計料・保証料等」を併せ、「ロイヤルティ等」という）に大別されます）。

「R+house」事業においては、ここ数年、事業の垂直統合強化の投資を行っております。2018年2月に技術本部機能の譲受、2018年4月に株式会社アール・プラス・マテリアル（部材の調達、供給を担う）の完全子会社化、2018年12月に株式会社HCマテリアル（部材の製造を担う）の完全子会社化を行いました。また、ノウハウの蓄積を目的として、消費者向けに「R+house」の建築施工を行う会社として、2017年3月に株式会社ウェルハウジング、2018年8月に株式会社LHアーキテクチャを子会社化しました。これらにより、内製化による利益を取り込み、「R+house」の建築施工による売上高が増加しました。

「R+house」事業以外では、2019年5月にアフターメンテナンス事業を行う株式会社家価値サポートを新設分割の手法で設立しました。もともと当社で展開していた「家価値サポート」事業を分社化することで、独立性、中立性を高めて「家価値サポート」ブランドのサービスを更に広く推進する考えです。また、「家価値サポート」事業における提携先である環境機器株式会社との関係性を強化し、顧客基盤の拡大を図ります。

販売費及び一般管理費については、引き続き将来の成長に向けたブランディング活動や人材の採用を積極的に進めました。広告宣伝活動ではウェブを中心に据え、消費者向けに、「R+house」等のブランドの認知度向上に注力しております。「R+house」以外にも、「不動産相続の相談窓口」事業においては、オウンドメディアである「相続MEMO」のサイト上に相続や資産管理に関するコンテンツを掲載し、潜在顧客・既存顧客との関係強化を図っております。人材採用は、会員企業への支援強化、子会社の体制整備を目的としております。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間における売上高は1,843百万円（前期比46.1%増）、営業損失は17百万円（前期は営業利益14百万円）、経常損失は19百万円（前期は経常利益15百万円）、親会社株主に帰属する四半期純損失は31百万円（前期は親会社株主に帰属する四半期純損失は3百万円）となりました。

セグメントの業績を示すと、次のとおりであります。

・コンサルティング事業

コンサルティング事業における当第1四半期連結累計期間は、「R+house」を中心としてロイヤルティ等が伸長し、売上高は1,683百万円（前期比40.9%増）、営業利益は19百万円（前期比50.9%減）となりました。

・建築施工事業

建築施工事業における当第1四半期連結累計期間は、「R+house」の受注数、着工数が順調に増え、売上高が増加した一方、前連結会計年度に設立した株式会社LHアーキテクチャ、SUNRISE株式会社において、投資としてのコストが先行していることから、売上高は200百万円（前期比169.2%増）、営業損失は37百万円（前期は営業損失23百万円）となりました。

・その他

その他における当第1四半期連結累計期間は、不動産特定共同事業等に関する支援業務等として、売上高は4百万円（前期比90062.6%増）、営業損失は0百万円（前期は営業損失2百万円）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末における資産合計は3,777百万円となり、前連結会計年度末と比べ86百万円減少しました。その主な要因は、流動資産のその他に含まれる前渡金が92百万円増加した一方、法人税等の支払いなどにより現金及び預金が167百万円減少したことによるものです。

当第1四半期連結会計期間末における負債合計は2,494百万円となり、前連結会計年度末と比べ21百万円減少しました。その主な要因は、前受金が121百万円増加した一方、未払法人税等が117百万円、流動負債のその他に含まれる未払消費税等が54百万円減少したことによるものです。

当第1四半期連結会計期間末における純資産合計は1,282百万円となり、前連結会計年度末と比べ65百万円減少しました。その主な要因は、利益剰余金が70百万円減少したことによるものであり、その内訳は期末配当金39百万円、親会社株主に帰属する四半期純損失31百万円であります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2020年4月期の連結業績予想につきましては、2019年6月14日に公表いたしました連結業績予想から変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年4月30日)	当第1四半期連結会計期間 (2019年7月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,188,227	1,020,542
受取手形及び売掛金	557,729	567,756
商品	82,531	85,237
販売用不動産	157,199	155,365
その他	203,917	284,748
貸倒引当金	<u>△6,306</u>	<u>△17,109</u>
流動資産合計	<u>2,183,300</u>	<u>2,096,540</u>
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	480,897	480,603
その他(純額)	217,477	204,121
有形固定資産合計	<u>698,374</u>	<u>684,725</u>
無形固定資産		
のれん	439,987	411,036
その他	<u>200,036</u>	<u>240,093</u>
無形固定資産合計	<u>640,023</u>	<u>651,129</u>
投資その他の資産	<u>342,983</u>	<u>345,408</u>
固定資産合計	<u>1,681,381</u>	<u>1,681,263</u>
資産合計	<u>3,864,681</u>	<u>3,777,804</u>
負債の部		
流動負債		
買掛金	349,816	290,702
短期借入金	620,000	720,000
1年内返済予定の長期借入金	135,004	135,004
未払法人税等	<u>147,022</u>	<u>29,024</u>
前受金	360,517	481,857
賞与引当金	7,925	3,319
その他	<u>457,463</u>	<u>387,469</u>
流動負債合計	<u>2,077,749</u>	<u>2,047,377</u>
固定負債		
長期借入金	359,855	326,104
役員株式給付引当金	<u>19,123</u>	<u>26,323</u>
株式給付引当金	33,757	44,077
その他	26,204	51,085
固定負債合計	<u>438,939</u>	<u>447,589</u>
負債合計	<u>2,516,689</u>	<u>2,494,967</u>
純資産の部		
株主資本		
資本金	432,420	432,684
資本剰余金	<u>368,804</u>	<u>358,739</u>
利益剰余金	<u>817,696</u>	<u>746,945</u>
自己株式	<u>△299,539</u>	<u>△299,539</u>
株主資本合計	<u>1,319,381</u>	<u>1,238,829</u>
新株予約権	1,456	1,248
非支配株主持分	<u>27,155</u>	<u>42,759</u>
純資産合計	<u>1,347,992</u>	<u>1,282,837</u>
負債純資産合計	<u>3,864,681</u>	<u>3,777,804</u>

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2018年5月1日 至 2018年7月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2019年5月1日 至 2019年7月31日)
売上高	1,262,220	1,843,513
売上原価	442,334	837,537
売上総利益	<u>819,885</u>	<u>1,005,975</u>
販売費及び一般管理費	<u>805,692</u>	<u>1,023,858</u>
営業利益又は営業損失(△)	<u>14,193</u>	<u>△17,882</u>
営業外収益		
受取利息	0	0
助成金収入	1,300	—
受取保険料	476	—
その他	582	370
営業外収益合計	<u>2,359</u>	<u>371</u>
営業外費用		
支払利息	918	1,547
営業外費用合計	<u>918</u>	<u>1,547</u>
経常利益又は経常損失(△)	<u>15,635</u>	<u>△19,059</u>
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期 純損失(△)	<u>15,635</u>	<u>△19,059</u>
法人税、住民税及び事業税	<u>21,954</u>	<u>20,012</u>
法人税等調整額	<u>△4,602</u>	<u>△7,635</u>
法人税等合計	<u>17,351</u>	<u>12,376</u>
四半期純損失(△)	<u>△1,716</u>	<u>△31,435</u>
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主 に帰属する四半期純損失(△)	1,951	△324
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	<u>△3,668</u>	<u>△31,110</u>

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2018年5月1日 至 2018年7月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2019年5月1日 至 2019年7月31日)
四半期純損失(△)	<u>△1,716</u>	<u>△31,435</u>
その他の包括利益	—	—
四半期包括利益	<u>△1,716</u>	<u>△31,435</u>
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	<u>△3,668</u>	<u>△31,110</u>
非支配株主に係る四半期包括利益	1,951	△324

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。